

県民参加による対話型 ワークショップ（大学生）

みんなの力で
解決したいこと

郡山会場	令和2年1月11日（土）
福島会場	令和2年1月15日（水）
いわき会場	令和2年1月22日（水）

- ・安全性(放射線)
- ・情報の発信の仕方
- ・地域交流の少なさ
- ・地域格差

- ・人を増やす(1・リターン)^{ド-4}
- ・魂力をふやす(観光地)健康作り
- ・塩減の(味が濃くて、しょっぱい。)

就職先をふやす!!

- ・福島のいいところを県外の人に発信する!!

① PR不足

→ 実際に住んでいても分かりにくい

② 文化の違いによるお金の分散

例) スポーツモットに特化

③ 若い世代に魅力が伝わりにくい

→ お酒・観光地など大人向け?

④ 起業しやすいということが 伝わっていない

→ 起業者増加が職業の増加につながる

⑤ アクセスの問題

→ 大学が市街地から離れている

・車がないと不便

1 避難指示解除地域の復興
→ 戻り人が多い地域と少ない地域がある
人がいないことには復興できない

2 情報発信
→ 県民でも知らないことが多すぎる

3 過疎地域の再生
→ 子どものいるところ、いたいところのちがいを

4 電車の本数が少なく、
県内の観光地へのアクセスが悪い

5 人の県外流出
→ 進学・就職と機に県外に行く人が多し

交通機関を→車がないとどこにもいけない
充実させたい

決め手に欠ける福島県の魅力をはっきりさせたい!
↳結局どこに行けば?と悩む

少子高齢化を解消したい
↳地域の担い手不足、若手不足

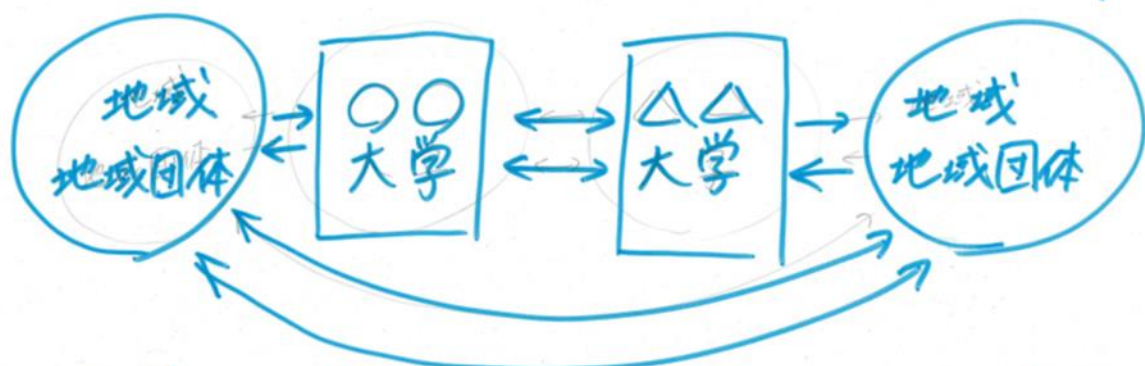
浜通りに人を戻したい

↳震災からの復興を進めるために

娯楽施設が少ない、

↳若者の遊び場がない、

課題：PR不足，地域どうしのつながり薄い！



★ 大学と大学の結びつきから
地域どうしをつなげる！

(県外とも協力・連携)

ある地域で良い
取り組みをしても
他の地域がそれを
知らないから参考に
できていない...
大学が仲介すれば解決するの
では？
PRにもなるのでは。

課題：過疎地域の再生

・どこが過疎化しているのか

・どんな問題があるのか

↳ そもそも福島県について知らないことが多い



過疎地域を学びのフィールドにして
関係人口を増やす！

○ 情報発信

課題や問題を抱えている地域外の人たちは、適切な情報発信が少ないために、地域内の問題意識や危機感が薄い。

○ 若者同士(大学間)のコミュニティが少ない

・ 福島県全体に大学が沢山あるのに、他大学生との関わりが少ないから。

○ 若者の移住・定住が少ない

・ 自分の地元に住んでいても感じる事だと思っただから。
・ 人口減少が進む中、力をいれるべきだと感じたから。

○ 若者の担い手不足

・ 復興を進めるなかで、中心となるのが下体高断者だから。

○ 他人事な人がいる

・ 福島県が広いので、考え方、捉え方が違う。
・ 当事者意識が低い

1 味の風評被害

米、桃、酒など、風評被害によってその「味」が失われてしまうことを防ぐことは、私たちの義務。

1 場所を守る

2 会津などの歴史的まちなみや、^{の保護}双葉町などの避難指示区域の解除のための取り組みから...
(失われつつある町、景観)

3 空き家(被災地)

4 心身共に元気にする

・避難者やお年寄りなどを私達が関わることで(炊き出し、傾聴活動、孫体験)元気にしたいと考えたから。

5 情報の発信

・福島の「味」や地域について私達だけでは若者の視点で発信したり、一人一人が福島の良い所を外に伝えいく必要があると考えたから。

・ロボット施設の知名度向上

素晴らしい施設があるのにあまり利用されていないため。

・県産品の風評被害

→県産品が安く売られているという現状にあるため。

・原発事故被災地域の産業の衰退

→一時的に避難地域に指定され、住民産業や生業が衰退したという現状があるため。

・限界集落の消滅の回避

→消滅しそうな地域の知名度が低い

・PRの方法

→SNSよりも紙媒体の方がわかりやすい

2. 交通手段

- 電車やバスなどの本数をふやしてほしい
- 東京・仙台などのとがいにいかにバス

公共交通機関の少なさ.

バスや電車の本数が少ない。

バス・電車

交通が不便で
もっと電車かバスが
増やしてほしい。

交通問題

② 交通手段の改善
(いかに限定)

キウキウが
足りない

⑤

楽しめる施設が
少ない

福島で考えてみると、ハワイアズしかないかな？

遊ぶ所を
増やす。

娯楽施設が少ない

「店が少ない」

若者向けのショッピング
施設を増やす

有名な食べ物やさんやアパレルブランド
のお店・キャラクターのショップをつくら
ほしい。

理由：これらのお店ができれば、
福島県内外からもたくさん
の人々が来ると思うから。

若者に惹かれる
要素が少ない

(~~ex~~
ex. レジャー施設,
イベント
(フェス))

観光客が来てくれるような工夫

観光地が少ない

→ アピール. 発信がまだ時代に
来れていない?

公園の遊具が少ない

5. 遊ぶ場所

- 公園や遊園地が少いぶんをバリエーションをふせしてほしい。
- 娯楽施設が少い。

人口の減少 😞

(特に若者の稼働)

過疎化

・ 魅力発信が足りない
(SNSなどの)

!!!
過疎地域の対策

(高齢者、稼働手段、
病院、コンビニ(7-11))

4位：学べる施設(特に大学)があったほうがいい。

理由：進学(都市部への)を理由にして転出する若者が多い。
人から

だから、筑波大学のような総合大学があればいいと思う。

課題：「衰退の進む 第一次産業の解決策」

若者に対し、第一次産業の人気は無いのが現状。
しかし、存続していかねばならない産業である。

都会に出ていく
人が多い。

「コミュニティ不足」

流通地域は特に、人との
つながりが少ない人が多くなって
きているから。

人と人のつながり
が薄い。

風評被害

への対抗策

3位 復興

理由 鹿島街道の崖くずれや

台風19号による被害の

復興が大きい。

(No.1!!)

バリアフリー

(五輪が開催されるため、
誰でも気軽に利用できるよう)

③ ゴミが多い

④ 外火丁が少ない